

後期高齢者医療制度・すぐに廃止させましょう

みなさん、こんにちには、日本共産党です。お近くから恐縮ですが、この場をおかりしまして、日本共産党からの訴えをさせていただきたい、と思います。しばらくの間、ご協力をお願いいたします。

みなさん、いよいよ参議院選挙が近づいています。日本共産党は、みなさんの願いが大切にされるような政治に切り替えていくために、全力を尽くします。比例代表では「日本共産党」そのものがお世話になります。また、埼玉選挙区では伊藤岳さん、東京選挙区では小池晃さんが、予定候補としてがんばっています。これからはますますお世話になりますが、よろしくお願いいたします。

「年齢差別の後期高齢者医療制度はすぐに廃止してほしい」これが、昨年の総選挙で国民が示した願いだったのではないのでしょうか。

野党時代の民主党は日本共産党などと一緒に、後期高齢者医療制度をすぐに廃止して元の老人保健制度に戻す法案を出していました。総選挙でも「すぐに廃止」が公約でした。

ところが、政権交代した途端、後退に後退を重ねています。「廃止」の時期は4年後に先送りされました。

約束していた保険料抑制の国庫補助もなく、4月から全国平均で年1300円の値上げになりました。

その上、とんでもない「新制度」が浮上しています。65歳以上の高齢者を強制的に**国保に移し**、現役世代と別勘定にするというのです。これでは、医療費がかかる高齢者を別勘定にして、際限なく増える負担を押し付けた後期高齢者医療制度と同じです。「うばすて山」の「入山年齢」を65歳以上に拡大するだけです。民主党政権のこんな公約破りは、許せません。

日本共産党は、後期高齢者医療制度の原型が出てきた10年前以来、一貫して反対してきました。ただ一つの政党です。お年寄りを苦しめる後期高齢者医療制度はすみやかに廃止して、元の老人保健制度の戻すよう訴えています。

老人保健制度は、現役世代と同じ医療保険に加入したまま、高齢者の窓口負担を軽減する仕組みです。これに戻せば差別の仕組みを一举に解消できます。

日本共産党を伸ばして、高齢者差別の医療制度をやめさせましょう。